

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月11日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901951		
法人名	有限会社 オフィスキタノ		
事業所名	グループホーム 幸		
所在地	北海道旭川市春光台4条9丁目4番地5 (電話) 0166-55-1733		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年11月10日	評価確定日	平成20年11月13日

## 【情報提供票より】(平成20年10月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 人, 常勤換算10.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木造軸組構造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000・18,000 円	その他の経費(月額)	25,500~35,500 円	
敷金	有( ) 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 150,000 円)	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	300 円
	夕食	500 円	おやつ	180 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	7 名	要介護4	6 名		
要介護5	3 名	要支援2			
年齢	平均 79.9 歳	最低	69 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	相川記念病院、奈良歯科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域住民の福祉に対する理解がある福祉村と呼ばれる地域に開設されたグループホームで、他施設のお祭りや盆踊り、地域のフラワーロードや清掃作業などに参加する機会も多く日常生活を通じて地元の人々との交流も積極的に行われています。また、ホーム内は観葉植物が多く配置されていたり、ベランダや天窓から採光が採り入れられ明るく、シーズー犬やうさぎが飼われ利用者や職員の癒しとなっています。共有スペースでは、利用者と職員が集い談笑やレクリエーションに興じて家庭的雰囲気を出しています。民謡やマジックショーなどのボランティアの受け入れも行われホーム機能の地域への還元も行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議に於いて包括支援センターや公的機関とのさらなる協働について挙げられていましたが、権利擁護などの各種研修会参加や日常業務を通じての相談や連携が行われています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が参加して自己評価が行われ、改善の機会として利用されてケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価・自己評価の結果については運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、二ヶ月に一度定期的に実施されています。主な主題は自己評価及び外部評価の結果について ホーム行事(消防訓練・通報訓練など)参加について 町内会行事参加について 周辺施設行事参加について 意見交換及び要望について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料金を持参される家族が多く毎月の来訪時に意見や不安な点など話し合われ運営に反映されています。また、運営推進会議での意見交換や苦情受付担当者を明示し、投書箱を設けて苦情や不満、意見など表せる機会も設けてカンファレンス等で職員の意見交換が行われ改善に利用されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 福祉村の周辺福祉施設の夏祭りや盆踊りなどへの参加や町内会に加入して清掃活動やフラワーロードへの参加をするなど地域の人達との交流促進が行われています。また、日常生活を通じての散歩や買物、演芸や民謡などの地域ボランティアの受け入れなど地元の人々との交流も実践されています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ミーティングや申し送りを通じて理念を共有し、日々の業務を通じて理念の実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	福祉村の周辺福祉施設の夏祭りや盆踊りなどへの参加や町内会に加入して清掃活動やフラワーロードへの参加をするなど地域の人達との交流促進が行われている。また、日常生活を通じての散歩や買物、演芸や民謡などの地域ボランティアの受け入れなど地元の人々との交流も実践されている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が参加して自己評価が行われ、改善の機会として利用されてケアサービスの質の向上に利用されている。また、外部評価・自己評価の結果については運営推進会議に報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、二ヶ月毎に定期的開催され議事録も備えられている。委員は、利用者、家族、町内会役員、事業者及び管理者・職員で構成され、施設行事参加や自己評価及び外部評価の取り組み等具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者との連携の重要性を認識して、日常業務の相談や助言を受けながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を实践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態については、毎月お手紙で報告し、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子などは毎月「グループホーム幸だより」を発行しています。また、金銭管理は、明細を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用料金を持参される家族が多く毎月の来訪時に意見や不安な点など話し合わせられ運営に反映されている。また、苦情受付担当者を明示し、投書箱を設けて苦情や不満、意見など表せる機会も設けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>居室や玄関入り口に職員の写真を掲示して、家族や来訪者に分かりやすく紹介している。また、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム連絡協議会や行政などの外部研修参加を奨励し、その研修内容の報告会で他の職員に伝達している。また、介護支援専門員などによる職場内研修が行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部のスタッフ研修や管理者研修などに参加して、同業者との情報交換や交流、他施設との職員の相互訪問が行われケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスが利用できるように入居前には、何度でも利用者・家族の見学を戴き場の雰囲気馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、レクリエーションやゲーム、犬やうさぎなどの小動物の世話を一緒にしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの趣味嗜好の把握や本人の意向に沿って散歩や買い物、小動物の世話、レクリエーション参加への支援が行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		今後は、目標から具体的支援内容、日々の記録、評価、見直しが運動していく取り組みがさらに強化されることを期待します。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書は、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、ホーム主催行事参加など柔軟に支援を行っている。また、通院への支援や医師・歯科医師等の往診も行われ適切な医療が受けられるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員が常勤し健康管理が行われていたり、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、指針を定め看護師、医師と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら全員で共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	内部の研修で一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけの実践や記録等の配慮した取り扱いが職員で共有されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、入浴やレクリエーション参加、散歩や買い物、縫い物やゲーム、観葉植物や動物の世話など本人の希望や意向に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスや摂取カロリーが把握され、メニューは栄養士が管理している。また、一人ひとりの嗜好を把握して、食事が楽しみになるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2~3回を目安に支援している。また、拒否の強い利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら近隣施設のお祭りや盆踊りなどの行事参加や縫い物や園芸、お菓子作りなどの趣味への支援、散歩や買い物など気晴らしの支援も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物、白鳥見物や喫茶店での喫茶、近隣施設でのコンサートなどの行事参加など戸外に出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関は、日中 鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、センサーが設置され安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、消防署の協力を得て火災避難訓練、消火訓練、通報訓練などが定期的実施されている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーが栄養士の指導のもと把握されている。また、具体的な水分・食事摂取量も記録され支援されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、観葉植物が多く飾られていたり、犬やうさぎの小動物が飼われ癒しとなっている。また、天窗やベランダの窓からは採光が採り入れられ明るく、木々などの新緑や紅葉が眺められ季節感が感じられて家庭的雰囲気を醸し出している。利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇やテレビ、冷蔵庫などの家電製品や使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。